

## 令和元年度 南越特別支援学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。  
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

(意見を聞いた方)

開かれた学校づくり検討委員会委員

外部委員(仁愛大学教授、事業所代表) 2名、PTA代表(会長、副会長) 3名、  
卒業生の会代表1名

(意見欄) \*検討委員会委員には、中間評価を渡して授業の視察を行っていただき、それらも含めて御意見をいただいた。

### 【学習指導】

- 各学部を解いたグループでの話合いが定期的に行われていることで、学部間の情報交換ができて指導力の向上に繋がっていると評価できる。今後は、教科を意識しての話合いなどが更に行われていくことで、授業づくりがより進み、児童生徒の成長に繋がってほしい。

### 【生活指導・安全指導】

- スクールバス乗車時のきめ細かい対応や指導によって、マナーが上がっていることは評価できる。今後も、安心安全の指導を継続して行ってほしい。
- 危機管理マニュアルが80%できあがったとのことだが、新型コロナウイルスなどの新たに発生してくることも鑑み残りのマニュアルを作成して欲しい。緊急時の対応の流れを実際に訓練しながらより良いものにして行って欲しい。

### 【進路指導・生活支援】

- 全学部で進路に関する情報をおおむね活用していることがアンケート結果で見とれるので、今後も継続して発信して行って欲しい。
- 来年度は生徒数が大変増え職場見学会など一斉に親子で参加することは難しいとのことなので、学年を決めて行なうなど対応を検討して行って欲しい。

### 【地域支援】

- 本校での授業参観・体験のニーズはあるので、参加人数にかかわらず今後も継続していけるとよい。近隣の学校等には、特別支援コーディネーターが出向いて教育相談を行っているので、いろいろな機会をとらえて支援が充実していけるとよい。

### 【組織運営】

- 教員間で意見交換する場面が増えたり、校内メール機能をつかっての情報交換が進み、児童生徒の指導に関するきめ細かい対応に繋がっていることは評価できる。

### 学校関係者評価を踏まえた今後について

- 今年度の取組みについて、全体的に高評価を得ることができた。来年度は取組み内容を検討し、更に充実を図っていきたい。
- 学習指導および安全指導に関しては、本年の取組みを継続し発展させていく。
- 生活指導に関しては、児童生徒のマナー面の充実を図っていき、地域支援に関しては、教育相談に関する取組みを行なっていく。
- 組織運営では、専門的な知識や指導力を高め合う体制づくりを推進する。